

News

No.140
2018/05/01

受け継がれる歴史



■サレジオ高専News
校長メッセージ
連携特設webサイト／研究ポータルサイトについて

■育英学院同窓会報
育英学院同窓会 定期総会開催報告
新会長就任挨拶（新卒生を迎えて）
前会長退任挨拶
第16期卒業生・第51期本科生 修了式・卒業式・謝恩会
第12回育英ファミリーの集い「さくらの会」開催
ワンダーフォーゲル部 創立50周年記念OBOG会合
故 花房（池田）康文氏（高専9期電気）同期の仲間葬儀参列
育英高専12期 電気工学科B組（岩上学級）クラス会
プラハンOB有志の会
関東信越地区高専同窓会交流会 長野高専
育英高専 工業薬匠学科 第1期生クラス会開催

■父母会だより
手作りを楽しむ会・育英祭・バスハイク・マラソン大会・新年の集い
第51期卒業対策パーティーリーダーメッセージ
平成29年度（第51期）卒業生保護者の思い
平成29年度 学生活動等支援補助金受賞団体のその後・編集後記

SALESIO

サレジオ高専

サレジオ工業高等専門学校

194-0215 東京都町田市小山ヶ丘4-6-8
Tel. 042-775-3020 Fax. 042-775-3021

Loving Kindness
Human Technology
Living Truth

発行人 … 校長：小島 知博
編集長 … 教員：山館 順
編 集 … 広報：星野 正登



- 先人から受け継いだ歴史とこれから創り出す未来 -

早いもので2005年に杉並から多摩境に移転して14年目を迎えました。写真は2018年4月に撮影されたものです。本校の周辺は空き地が目立っていた移転当初に比べると発展しました。本校にとって最も大きな出来事は赤茶色の建物の町田サレジオ幼稚園が隣にできたことです。幼稚園とともに地域に根差し、地域の発展に貢献できる学校づくりを目指します。

1926年にサレジオ修道会の最初の宣教師たちが来日しました。1931年大分県で「ドン・ボスコ印刷学校」という小さな印刷学校が建てられました。この印刷学校が1935年に東京の杉並に移転して「帝都育英工芸学校」という名称で教育活動を始めたときから本校の歴史が本格的にスタートしました。2005年の多摩境への移転までの間、帝都育英学院工業学校になり、帝都育英学院中学校と帝都育英学院工業高等学校に発展しました。さらに1963年に育英高等専門学校となり、1967年に育英工業高等専門学校と改称、そして2005年の移転と同時にサレジオ工業高等専門学校（サレジオ高専）となって現在に至っています。

沿革をながめると歴代の校長や教職員が時代の変化に応じた学校の在り方を模索して教育活動を継続させてきたことが伝わってきます。83年の歩みは本校の財産です。まだ83年です。これからも日本社会の発展に貢献できるよき職業人の育成を継続、発展させて、ドン・ボスコの教育のすばらしさを広めていきたいと願っています。



サレジオ工業高等専門学校
校長 小島 知博



1st Principal
Angelo MARGIARIA



2nd Principal
Ken TAKARADA



3rd Principal
Gaston DUMEEZ



4th Principal
Johann DALKMANN



5th Principal
Jozef FIGURA



6th & 7th Principal
Giovanni PETRACCO



8th Principal
Clodoveo TASSINARI



9th Principal
Nicolo TASSAN



10th Principal
Nicodem PISARSKI



11th Principal
Frans HENDRICKX



12th Principal
Tsugio TANAKA



13th Principal
Katsusige SUZUKI



14th Principal
Tomohiro KOJIMA



サレジオ高専公式Webサイトの
「History」も是非ご覧ください。

<http://www.salesio-sp.ac.jp/main/history>

- 連携特設Webサイト新設 -

サレジオ高専の教員や学生達が、それぞれの専門分野等を活かして実施した様々な連携についてまとめたWebサイトを新設しました。多様な人々が織りなす創造的な繋がりは、学生達の加速度的成長を促しながら、いつも我々を新たな世界へ連れて行ってくれます。数多くの連携を通してまだ見ぬ地平線の向こうへ進んでゆく学生と教員、そしてお力を貸して下さる皆様の姿を見てどこまでも続く雲海をイメージし、このサイトを新設しましたので皆様是非ご覧ください。このWebサイトの制作は、本校の卒業生により行われましたが、こういった卒業生とのつながりも本校の大切な宝です。人と人が繋がり、新たな価値を生み出してゆく事を心よりうれしく思います。

サイトにて掲載中ですが、サレジオ高専では企業等様々な団体の皆様と多様な連携を推進しております。進行中の様々な連携はその性質上、詳細まで開示できないものもありますのでここでは実例の一部と概要のみご紹介させて頂きます。

(敬称略)

・日立アロカメディカル»放射線計測器のデザイン提案・日本電子株式会社»電子顕微鏡事業に関わる企画電子顕微鏡の先行デザイン提案・メモリアルアート大野屋»遺骨ペンダントのデザイン提案・JCV KENWOOD»Forest Notes スピーカーのデザイン提案・リコー株式会社»新型プロジェクターに関する企画、デザイン提案・株式会社 和広»町田市のための生ごみ処理機に関する企画、デザイン提案・町田商工会議所»まちだシルクメロンパッケージデザイン採用・町田商工会議所»子供向け参加型ワークショップ実施・アレサ商栄会»地域貢献型冊子「アレサ」企画・南大沢警察署»高齢者向け呼びかけボスター採用・町田市消防団»団員募集プロジェクトポスター、イベント企画提案・大山阿夫利神社»「布招き」デザイン採用・全国高等専門学校英語フレコン»「英語が使える高専生」ポスター・デザイン採用・株式会社イノウエ»ヘアゴム系商品のパッケージ、販促品提案(進行中)・安宅漆工店»伝統工芸支援プロジェクトにおける製品化支援・ジャノメミシン工業株式会社»異型形状アルミニウム合金铸物の熱処理に関する研究・株式会社テイバ»感熱弁を用いたPVモジュール冷却用自動散水システムに関する研究・日新技研株式会社»誘導加熱用インバータに関する技術提携・日立マクセル株式会社»ソーラーバイクレース用リチウムイオン二次電池に関する技術提携・リオンサービスセンター株式会社»IHクッキングヒーターが発生する高周波騒音に関する研究・(株)アサカ力研»PVモジュールの表面汚染対策技術商品化に関する連携・株式会社テックスイージー»RFマグネットロンスパッタリング法による熱電材料の成膜と特性評価・分光エリプソメトリによるバルク熱電材料の誘導率評価・株式会社ケイティックリサーチ»表面分析および解析技術に関する研究・株式会社リコ»海老名RICOH Future House における科学体験教室協働開催・株式会社日立製作所»開発中案件につき詳細非公開・日立マクセル株式会社»開発中案件につき詳細非公開・リコ・テクノロジーズ株式会社»開発中案件につき詳細非公開・株式会社D2C»スマートフォンアプリ開発技術者検定試験連携・株式会社リサシステム»企業研究発表・マルマテクニカ株式会社»企業研究発表
他多数

サレジオ工業高等専門学校
校長 小島 知博

サレジオ高専公式 連携特設Webサイトは

<https://www.salesio-special.com/>

からご覧になる事ができます。
皆様是非ご覧ください。



- 研究ポータルサイトリニューアル -

連携特設webサイト同様本校の卒業生により、サレジオ高専の教員たちの専門分野や、研究業績などをまとめた研究ポータルサイトをリニューアルいたしました。様々な得意分野を持つ教員達と、その教員と共に学び、成長する学生達は大切な本校の宝の1つであると考えます。このサイトを見た様々な方々との新たな連携がどのような新たな価値を創出するか非常に楽しみです。

サレジオ工業高等専門学校
校長 小島 知博

教員達の業績等が閲覧できます

学生達の卒業研究が閲覧できます

研究室のサイトが閲覧できます



サレジオ高専公式 連携特設Webサイトは

<https://www.kenkyu.salesio-special.com/>

からご覧になる事ができます。
皆様是非ご覧ください。



育英学院同窓会報(報)

発行人:育英学院同窓会 / 事務局:東京都町田市小山ヶ丘4-6-8 サレジオ工業高等専門学校内



— イベント特集 —

定期総会・卒業・謝恩会・育英ファミリーの集い

育英学院同窓会(2015.9-2017.8)

定期総会開催報告

2017.11.4 (土) 16:00~ サレジオ高専にて

去る2017年11月4日、サレジオ高専において育英祭が開催のなか隔年開催される定期総会及び卒業生の集い

(SHCD2017) が開催された。当日16:00時には50名を超える正会員が参集し、出席者の承認により総会が成立、次いで林同窓会長の議長選出、進行により提案議題が審議された。

議案についてはサレジオ高専ニュース139号に掲載、解説されているのでその内容は前号参照としてその経過を報告する。

第1号議案（同窓会の現況）

本同窓会の会員数は正会員・特別会員を含めて14117名（同窓会年報2017）に達しているが郵送物が届く住所有効会員は7152名で住所不明会員は5195名に達していると報告があり、会員の住所異動告知に問題が残されている。

第2号議案（2015.9-2017.8事業報告）

当該期間の同窓会活動が報告され、特に日本連合をはじめアジア・オセアニア地域大会への代表送出などが特筆される事柄であった。

第3号議案（2015.9-2017.8決算報告）

収入の部では卒業生の減、正会員の年会費収入の減など、一方支出の部では執行役員の国内派遣、海外派遣など支出増などがあり、繰越金の取り崩しで対応せざるを得なかった。次いで生田目監事より監査報告があった。

第4号議案（2017.9-2019.8事業計画）

基本的には例年通りの事業計画となったが、日本連合関係で、2020年アジア・オセアニア地域大会の日本開催の準備を開始することになっている。

左下からの続き

第5号議案（2017.9-2019.8予算提示）

収入の部では卒業生の増加傾向に期待し、支出の部では抑制傾向に向かうが繰越金取り崩しは避けられない。次期理事会ではこの対応を検討せざるを得ない。

第6号議案（同窓会則の改正）

主たる変更点は日本連合など上部団体の対応など業務の多様化、増量に対して副会長の増員、会長代理・代行制度の新設など会則改正を行った。また事務局の強化を行い、2018年4月には事務局員に高専事務部の柴田さんを迎えて卒業生対応を強化することになっている。

第7号議案（新役員の承認・紹介）

2期6年を務めた林紹溢会長が退任、新たに河村英和(S01E) 新会長が就任した。その他の異動についても既報通りである。

以上の議案は出席会員の拍手賛成により承認された。

その後SHCD2017卒業生の集いを開宴した。由良副会長の進行のもと来賓として小島高専校長の挨拶、河村新会長の挨拶、そして招待された高専16～20期を代表して後藤英昭(S17E)、45期生、新卒50期の片柳葵（S50AD）さんの挨拶があり、乾杯の音頭を恩師の先生の発声で始まった。恒例のBINGOはSingle5（5並べ）がMicroSD8GB賞品でスタート、Double5（その2組）が32GBに最後はFull（全部）で256GBが最後の1人に当たった。



右上に続く

次ページへ続く

前ページからの続き

SHCD2017のスナップから



新会長就任挨拶（新卒生を迎えて）

新会長 河村英和 (S01EP)



昨年育英祭時の同窓会総会において、林前会長の後を受けて会長に就任致しました河村英和です。同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍の事と拝察致します。

また、就任に当たり歴代会長が築いて来た伝統と歴史を踏まえ、若い会員の皆様の力をいただき、新執行役員の皆様とともに、同窓会の 本来の目的である会員相互の親睦・情報交換そして学校事業への支援を図りつつ若い力による同窓会活動の活性化に努めて参る所存です。さて卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。専攻科16期生15名、本科51期生133名、計148名を新たにお迎えし、同窓会会員は延べ14354名（中工等重複、特別会員含）に達しました。育英学院は創立83年目を迎えます。社会に旅立つ皆さんに「サレジオ精神」を忘れずに「善き社会人」になれとエールをお送りする次第です。また皆様には今後一層の、同窓会活動の重要性と主旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げる次第です。引き続いて以下の活動を進めてまいります。

- 理事会・評議員会・SHCD幹事会の開催
- 同窓会の運営・会計報告・活動報告・予算案・事業計画の審議及び承認
- 名簿データベースの管理・同窓会年報の発行
(新卒業生へ配布)
- 同窓会報の編集発行（高専ニュース併載毎年10月発行）
発送会員7144名
- 在校生との交流会（4年生へのキャリアデータへの講師支援）
- 同窓生のクラス会、同期会、クラブO B O G会等への支援
- 学生募集活動への協力（同窓生への学生募集資料同封配布）
- 育英サイテック（杉並）の同窓生無償利用
- サレジオ同窓会日本連合活動参加と東アジア・オセアニア地域東京大会2020準備

前会長退任挨拶

顧問（前会長）林紹溢（S06GB）



2017年11月4日で行われた総会を機に会長を退任させていただきました。6年間の就任でしたが、在任中は、同窓会の理事、役員、学校関係者の皆様をはじめ多くの会員の方々の温かいご指導とご支援、ご協力をいただきました。厚く御礼申しあげます。今後も高専1期卒の河村新会長のもと、これまで以上の発展を祈ってやみません。

同窓会にとって大切なことに、我々の後継者の育成を担う母校との関係があります。同窓会と学校とはそれぞれ独立した組織体ではありますが、運命共同体として共に発展するには其々の役割を果たしていくことが重要です。どうか、わが同窓会の発展のため、母校の躍進のため会員のより一層のご支援をお願いいたします。

最後になりますが、皆様方が、より一層ご健勝にてご活躍されることを心からお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

ありがとうございました。

● 2017年の同窓会の主な活動

- ・2017年 1月14日：定期公演・応技セ報告会へお祝い
- ・2017年 3月14日：高専50期卒業式・謝恩会に出席
- ・2017年 6月10日：キャリアデー支援・理事会監事会
- ・2017年 9月 9日：理事会・評議員会開催
- ・2017年11月 4日：SHCD2017開催・100名弱参加

第16期専攻科生・第51期本科生**修了式・卒業式・謝恩会**

2018/3/12杜のホール（橋本）

2018/3/12ベストウェスタンレンブランチホテル（町田）

2018卒業式・謝恩会からそのスナップの一部をお届けする。撮影者の技量から小さいところはご容赦。卒業式も肃々と行われ、会場を移しての謝恩会も喜びのうちに開宴した。

今年から同窓会記念品としてSalesain Alumni Japanと記録されたドン・ボスコのピンバッジが贈られた。クラス幹事として評議員も会長から紹介された。



第12回育英ファミリーの集い「さくらの会」開催
主催 育英ファミリーの会・後援 育英学院同窓会
2018/3/24 育英サイテック（杉並）

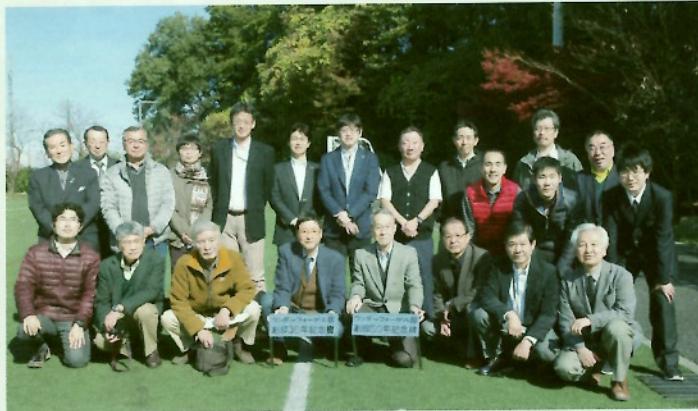
育英ファミリーの集いは中学7期、工高6期から高専45期まで80代から20代の3世代に渡って80名超の皆さんのが参加され、お天気も快晴、桜も満開と絶好の「さくらの会」となりました。来賓の高専小島校長、河村新同窓会長の挨拶で開宴、加藤先生（印刷）の名物焼きそばをほおばりながら楽しいひとときを過ごしました。

卒業以来50数年ぶりに来た方は杉並周辺の変わりようにびっくりしていました。昔通ったのにもかかわらず会場が見つからないと苦労された方もいました。会の企画・運営に奉仕頂いた皆様、会場や賞品提供のサレジオ修道会、下井草教会など関係者各位に感謝いたします。



ワンダーフォーゲル部
創立50周年記念OBOG会合
サレジオ高専（町田）
2017/11/19 藤谷宏（S7E）

ワンダーフォーゲル部OB・OG会は、去る2017年11月19日（日）母校にて創部50周年記念の祝賀会を盛大に開催しました。1966年6月に同好会スタート、1997年4月に部昇格、部員数20名程度で活動開始し、1998年11月に創部30周年記念植樹・祝賀会を行い、この度、創部50年を迎えました。祝賀会では、ご来賓として小島校長様からご祝辞を賜り、創部当時の活動に創部メンバーが思いを馳せ、皆で半世紀もの永く続く部活動に感無量と今後も学校、そして部の益々の発展を祈念しました。現在、創部50周年記念誌の発行を準備しております。参加者は歴代の部顧問の野沢、山館、伊藤先生を始め平井(1)、河村(1)、飯田(1)、望月(2)、木原(3)、加藤(3)、木謙(4)、小澤(4)、藤谷(7)、建部(8)、島崎(8)、町田(12)、草野(13)、小森(14)、長尾(18)、由良(22)、小林(42)、進藤(45)、現役部員の荒、伊藤の計23名。



故 花房（池田）康文氏（高専9期電気）
同期の仲間葬儀参列（豊四季教会）
2017/12/12 林 紹溢（S6G）

花房（池田）康文氏の葬儀は2017/12/12に千葉流山のカトリック豊四季教会で行われかつてのカトリック研究会メンバー7名で参列しました。高専第9期電気工学科の3年まで在学、以降サレジオ志願院に転出。たまたま、S09GAの田村君が同じ教会だと最近知ったので参列した次第です。ご冥福を祈ります。



育英高専12期
電気工学科B組（岩上学級）
クラス会
2017/6/24 飯野昭（S12E）

昨年、久しぶりに開催した「岩上学級クラス会」を今年も行う事ができました。今回は大変お世話になった黒田先生と依田先生に来ていただきました。懐かしい卒研でのエピソードや当時の想いなど、いろいろなお話が聞けました。黒田先生の楽しいハーモニカ演奏、ありがとうございました。近況報告では、子供や親の話、会社や病気の話などで時間がなくなりました。卒業以来、山あり谷ありのそれぞれの人生を歩んでいます。来年は戌年で多くのクラスメートが還暦です。「還暦のクラス会をやろう！」で散開しました。

・開催日：2017年6月24日
・場 所：品川区大崎 ゲートシティー大崎 ロオリ

参加者の名前はHP（PDF）拡大で判明します。



ブラバンOB有志の会
パンとぶどう酒（井荻：西村美博[S9E]経営）
2017/11/17 林 紹溢（S6G）

旧ブラバン（マッドタドポール JAZZ オーケストラ）OB会の集合写真で、この「パンとぶどう酒」店は2018/4/3から下記の場所に引っ越しました。今年のブラバンの同窓会はこちらで開催されます。場所は井荻駅南口改札を出て右に環八をくぐり商店街を進み右にFMを見て角を左に曲がった所です。



**関東信越地区高専同窓会交流会
長野高専
2018/10/28 林紹溢(前会長、現顧問)**

10月28日(土)。鈴木副会長と台風22号襲来の中、長野高専で開催の第2回交流会に出席。

産業技術高専2名、茨城高専1名、主催長野高専3名、育英学院2名の計8名。同じ高専のゆったりした雰囲気漂う中、各校のプレゼンおよび懇親会でそれぞれの悩みや意見を取り組みを聴き、とても参考になり刺激を与えられました。

なかでも、毎年学校・後援会(父母会)・生徒会役員(毎回20名ほど積極的に参加)の懇談会で活動状況の紹介および協力要請等の話し合いを持つことによって、卒業後も同窓生と密接な関係を保てるよう勤めている。

卒業生数名で企業・事業を開業する等、活発に交流を持つなど興味深い有意義な会合でした。

翌29日(日)には我が母校も出場の「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017(大江戸ロボット忍法帳)」、全国高等専門学校連合会・NHK・NHKエンタープライズ主催を観戦し、ラジオ高専ロボコンにエールを送りました。



**育英高専 工業意匠学科
第1期生クラス会開催 日本海庄や(池袋)
2017/7/29 松本 健司**

去る2017年7月29日池袋「日本海庄や」LABI-1店において工業デザイン学科第1期生の卒業50周年を記念してクラス会を行いました。卒業以来不定期にクラス会を開催していましたが今年は卒業50年古希を迎える年になり各自の連絡網で出来るだけの参加者を募った。

相川敬一、江原一行、藤井尚夫、早足武夫、磯部幸一
瓦田秀延、小林利行、小西均、増島明、松本健司
本橋正俊、大塚真純、斎藤進、佐久間修、笹本公雄
関泰裕、島津豊、鈴木亨、山崎博行、吉岡栄一

以上(敬称略)

卒業生44名中20名が集まりました。

前回2012年に恩師故ヘンドリックス先生の来日50年集いの日に開き18名が集ましたが、今回は古希を迎える年に前回以上の元気な笑顔が並び一瞬に時を越えた級友の親交を深めました。また次回の開催を近年中に出来るだけ多くの級友、諸先生の集まりを願い開催する事になりました。

- 幹事報告者 早足武夫
- 松本健司(mid-kenji@nifty.com)



育英学院同窓会 公式Webサイトも是非ご覧ください



<http://www.ikueigakuin-dosokai.org/doso/>

or

「育英学院同窓会」で検索していただいてもOKです

父母会だより

サレジオ工業高等専門学校父母会
広報パーティー編集

9/16(土) 手作りを楽しむ会

台風の影響が心配された9/16(土)午後、フェスティバルパーティー主催の手作りを楽しむ会が開催されました。参加者42名ととても盛況な会となりました。皆さん、ビーズリングと刺繍糸プレスレットに分かれて作成に励んでいました。フェスティバルパーティーメンバーの極め細やかなサポートの効果もあり、30分から1時間程度でぞくぞくと作品を作り上げていました。



完成後は、さらにもう一つと作成キットを購入される方もいらっしゃいました。終盤はtea timeとなり、ちょっと集中した後のリラックスタイムで互いの作品を褒めあったり、楽しいおしゃべりをして普段とは違う午後のひと時を過ごせる会となりました。



11/4(土)～5(日) 育英祭

お天気に恵まれ、テーマ「BOND」の育英祭が開催されました。父母会からは毎年恒例とん汁・おにぎり・飲み物・手作り品の販売とバザー・手作り教室を開催しました。バザーは開店前より長蛇の列となる大盛況！多くの皆さまが、ショッピングバッグいっぱいにお買物をしていました。保護者の皆さま、選りすぐりの提供品をありがとうございました。手作り品はどれも力作ぞろい、今年の手作り教室の作品は“フォトフレーム”で予約満員御礼となりました。参加者は「楽しい！」と笑顔で思い思いの作品を作っていました。具だくさんのとん汁は心も体も温まるおいしさで、毎年いらしているご近所の方に「おいしい！」と好評でした。

お手伝い、ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



ミニコラム 【広報リーダー尾本の育英祭見聞】

皆さん、5年生がネクタイをして、自分の卒業研究中間報告パネルの前で説明する機会を待っていたことをご存知でしょうか。彼らは誰かに聞いてもらいたいのですが、話がちょっと難しそうなため、誰も近づいてもらえない寂しい状況でした。ということで、私が二日間かけて片っ端から聞いてきました。彼らに対し『私は専門家ではないので、私に分かるように説明してください』と言ったところ、全員が自分の言葉で生き生きと話してくれました。面倒見の良い学生は自分のパネル以外のものも説明してくれ、とても感心しました。最後の1時間では先生方がどっと訪れ、各パネルの評価が行われていました。色々と面白いシーンもあり、交流ができるとても楽しかったです。各学年の保護者の皆さま、5年生になったらこうなるんだという視点で、是非5年生と向き合ってほしいと思います。それが学生にとっても一番のモチベーションアップにつながるのです。

11/25(土) バスハイク



晴天に恵まれた晩秋の駿河路、バスの車窓から富士山の絶景をながめながら大井川鐵道の新金谷駅へ。SLに乗車してガタゴトと揺られ、まずはお弁当に舌鼓、次に車内に広がる煙のにおいを嗅ぎつつ外に広がる美しい景色を楽しんだり、車内限定のお土産を買ったりしました。帰りには焼津さかなセンターでお買い物。短時間の滞在だったにもかかわらずバスのトランクルームは一杯になっていました。真っ暗になった多摩境駅前から参加者達が笑顔で帰路に付いたのは言うまでもありません。レクリエーションパーティーの皆さま本当に疲れませんでした。

サレジオ高専のママ友やパパ友を作りたい方は、来年はぜひ参加してみてください。きっと楽しい思い出が作れると思いますよ。

12/22(金) マラソン大会

雲一つない青空のもと、第43回マラソン大会が開催されました。女子は10時、男子選抜は10時10分、以後5分ごとに5年生から1年生男子がスタートしました。女子10km、男子13kmの長い道のりを走りだしました。「運動の苦手な人も調子が悪い人もその人なりに走るよう」との校長先生のお言葉通り、一番の女子が48分台の好記録でゴールし、最後尾は13時前とそれぞれのペースで走り切りました。



父母懇パーティーの保護者の皆さまが走り終わった学生に水を手渡し、食堂でおにぎりとん汁を配りました。

今年は予算をアップして具だくさんになったアツアツのとん汁に閉会式後も続々とお替わりの学生が列を作りました。

1/13(土) 新年の集い

120名の保護者と14名の先生方の参加により、盛大に新年の集いが行われました。会長そして校長先生のあいさつから始まり、育英祭バザーでの収益金を学校に寄贈するセレモニーと和太鼓のパフォーマンスもありました。

充実したお料理に心を和ませ、参加者全員に景品が当たるbingo大会も大いに盛り上がり、大満足な時間を過ごすことが出来ました。参加を逃した皆さん、是非来年は先生方とともに、抱負などを語り合いましょう！！



第51期卒業対策パーティーリーダー 5EE大原美智子

卒対のメイン活動は「如何にして思い出に残る素晴らしい謝恩会を開催するか」に尽きます。今年度は新しい会場での開催となる上、会場は謝恩会直前の全面リニューアルが決定しています。その為、全体のイメージが掴みにくく苦戦を強いられる部分もありますが、力を合わせ、知恵を出し合い、議論を重ねて「必ず良い謝恩会にする！」という強い気持ちで臨んでいます。

『より良いものを追求する為には激しい議論が付きまとう』と覚悟をしていましたが、実際は意見を戦わせるというより、互いに助け合い、認め合い、補い合って活動が進んでいます（経験上、他のパーティーもまた然り）。

この記事を読んでいただける頃には既に結果も出ていることでしょう。良い謝恩会であつた事を祈るばかりです。



平成29年度(第51期)卒業生保護者の思い



充実した5年間

デザイン学科 内村佐登美

グラフィックデザイナーになりたい！
ネットでサレジオ高専を見つけ、学校見学に伺い、こちらの雰囲気と充実した施設に魅せられ決めました。

埼玉県久喜市から、多摩境までは2時間余り。娘は通う！と言い切りました。一年の頃からデザインに触れる機会が多いものの、時に課題も多くそれは大変そうでした。専門学科では、更にデザインの技を学び、学科以外にも英語スピーチコンテストや、プログラミングコンテストなどにもチャレンジ。普通高校では出来なかつたであろう沢山の経験をさせて頂くことが出来ました。お陰様で希望の企業に就職が決まり、こちらでの学校生活も残りわずかとなりました。5年間、弱音を吐くことなく、これまで皆勤で通い通した娘。

楽しく充実した学校生活が送れたのも、よきお友達、熱心にご指導下さった先生方、学校関係者皆様のお陰で心より感謝しております。ありがとうございました。

アシステンツァに感謝

機械電子工学科 厨 幸子

物作りに没入する工作少年にとりサレジオ高専は魅力的な学校です。アシステンツァの理念が息子を支えて下さりそれが家庭にも伝わってきました。旋盤で作成したステンレスの独楽について息子に尋ねた時、技術だけではなく伝える力が伸びたと感じました。アイデアを形にしたいという仲間と共にロボコンでPDCAサイクルを意識し実践しました。「創造演習」では「落ちない君」の作成と対戦が大きな励みになりました。就職活動では担任の先生が家庭からは見えない本人の良い点や親が気付かない特性を理解して下さりさらに研究室の先生が親身にご指導下さったお陰で内定を頂きました。プレテックの頃の多感な時期を支えて下さる教育が土台となりさらに個性への理解と導きが5年間継続されて息子は大きく成長出来ました。卒業アルバムの個人写真の背景に息子が選んだ場所は夢工房です。入学時は一人の工作少年でしたが大切な仲間を得ました。卒業後も心の支えとなる場所なのだと思います。

卒業生にむけて

電気工学科 後藤英昭

私自身、サレジオ高専の前身である育英高専の卒業生でもあり、苦労しながらも長男が卒業できたことに感激しています。

私は社会人になってから公的資格を取得する重要性を知り、長男には早く実践力を付けさせるために学生時代から資格取得の挑戦を促し、そして多くの資格に合格できた事が何よりの財産と考えています。

在校生の皆さん、これから自分の未来は自分で創るもの。しかし人のアドバイスに耳を傾けることも大切です。自分の生きたいように生きれば良いと思いますが、やりたいようにやると普通は成功しません。先輩たちの話を聞き、人生の参考にして、時には真似をして、そしてそれを達成するために勤勉勤労、努力することだと思います。今の自分にとって何をすべきか、手を抜いて楽をしていいか、よく考えてがんばって下さい。

サレジオ高専の長い歴史の中で、いまや3代目もいるそうです。親に子に孫の時代なのです。私も早く孫の顔を見たいし、また是非サレジオ高専に入れたいと思っています。歴代の校長先生、職員の方々、また私と子供の同級生、ご父兄、そしてドン・ボスコに感謝します。

いろいろな可能性

情報工学科 金井美鈴

「1点内申が足りない…。」中学3年の秋、私は私立高校の説明会で愕然としました。そんな時、知人の娘さんが通うサレジオ高専を思い出し、息子も気に入りなんか入学しました。初め成績は良くありませんでしたが、転機は1年の終わりに訪れました。主人の海外赴任に伴い息子は休学する予定でしたが、親戚中の反対を押し切り日本に残ることを決意、寮に入ったのです。自分で決めたからでしょう、ここから自ら勉強し始めました。寮の勉強の時間も良かったと思います。成績が少しずつ上向き始め、大学に行きたい気持ちが芽生えたようです。同じく編入学を目指す友達と勉強し、先生に質問するようになりました。それでも毎年不可科目があり、認定試験での合格を繰り返しました。家族の帰国後、週末家では左手にDS、右手に携帯、目の前にPCの三刀流で、全く勉強する様子がありません。もう2年専攻科にお世話になろうと考えていたところ、編入試験合格の知らせが届きました。想定外の吉報に私も主人も飛び上がるほど喜びました。3年の頃から学校と寮でコツコツ勉強していました。親身になって下さった先生方、一緒に勉強してくれた友達、寮のスタッフの方に心から感謝致します。いろいろな可能性のあるサレジオ高専を選んで本当に良かったです。



平成29年度 学生活動等支援補助金受賞団体のその後



今年度、父母会より学生活動等支援補助金の交付を受けた5つの団体が、支援金を活かしどの様に活動して来たのか、各顧問の先生や代表に伺いました。

相模原市ドローンプロジェクト

相模原市ドローンプロジェクトは、相模原市で行われるドローンの大会に出場するために立ち上げたプロジェクトです。今年が発足初年度でドローンに関する専門的な先生などもいない中、試行錯誤で製作を行っています。プロジェクトとしては大会での上位入賞が目標ですが、学生同士で考えたアイデアや持ち寄った知識を総合させて、市販のドローンとは一味違った学生手作りドローンとして参加することにも挑戦しているみたいと思っています。



顧問：吉野純一 先生

全国高専プログラミングコンテスト競技部門

今年度の全国高専プログラミングコンテストでは競技部門に出場しました。大会は10月8、9日と山口県周南市の周南市文化会館で大島商船高専の主管で開催されました。競技部門では人間の力では解くことが難しいパズルをITの力で解くという問題が出題され、私たちは4月のルール発表時からプログラムの作成を行い、大会本選10月までプログラムの改良を行いました。学生活動等支援補助金で購入したiPad Proを使い問題の解を探し解答を表示するシステムを開発しました。結果としては、初戦で敗退してしまいましたが、タブレット3台を使って挑んだことにより、タブレットの性能の進化と今後の可能性に身をもって知ることができました。



今後は、どんな状況にも対応できるようなプログラムを作り、決勝戦進出を目指したいです。

顧問：清水哲也 先生

写真部

父母会の皆さまのご支援で部室にて現像作業が出来る環境が整いました。出来あがった暗室で早速、フィルム現像、そして引き伸ばしを行い、先日の育英祭で展示することができました。これには大きな反響があり、懐かしいと言う感想や、フィルムカメラをお貸ししますとの声掛けをいただき、今後の活動が広がるきっかけが出来ました。



今回のご支援により、温故知新の機会を得ることができ、部員の士気が大きく向上しました。あらためて、お礼申し上げます。

部長：前島 野乃さん

モダンダンス部

今年度、モダンダンス部は、コンペティションへの参加、地域交流などの活動を行いました。今年も「国際なかのダンスコンペティション」に参加しました。この大会はプロも参加する大規模なもので、私たちは創作部門で舞台発表をしました。舞台で自分を表現すること、考え方や思いを踊りで伝えることの難しさ、楽しさを学ぶことができました。

また、夏期休暇期間には、サレジオ幼稚園、小山が丘小学校との地域交流も行いました。子供達にダンスを見せたり、子供達のために作ったフリーで簡単なダンス指導をしたりしました。子供達からは「楽しかった！」「また来るね！」と笑顔で応えてもらえて、とても嬉しかったです。部員達も、年の離れた子供たちと接することで、教えることの難しさ、楽しさなど、様々なことを学べる良い機会となりました。今後も私たちはコンペティションに挑戦し、また地域交流に力を入れるなどして、頑張っていこうと思います！



顧問：ルイス・マルケス 先生

自分の健康を管理しよう

本研究では若年層における健康意識を高めるために、我々高専生が被検者として実験を行い、得られた結果より、ウエアブル健康機器端末の開発を進め、若年層から健康維持で実施可能な事の模索を行いました。

実験では、市販の血圧計とパルスオキシメーターを用いて、校舎外周を20分間ランニングし、運動開始前後の心拍数、血圧および動脈血酸素飽和度の測定を行いました。結果は、BMIの高い人（肥満体型）と低い人（標準体型）を比較すると、高い人では運動後、最低・最高血圧共に上昇する傾向が確認されました。この変化はBMIの高い人だけに見られる傾向で、若年層における健康低下を判断する指標のひとつとなりうる可能性が示されました。対して、動脈血酸素飽和度の変化は両者ともにほぼ一定でした。また、並行して心拍計の作製を行い、小型軽量化にむけ測定原理の理解など行いました。



今後、機器の小型、計測を行い、既存の機器との比較を行っていく予定です。

顧問：吉田 慧一郎 先生

編集後記

編集にあたりご協力いただいた皆さまへ深く感謝いたします。保護者の、子ども達や学校活動に対する熱い思いに触れ、父母会活動は親の愛情をエネルギーとして、今後も長く続いて行くものと感じました。





高専News編集部では
皆様からの情報やご要望をお待ちしております。

ご自身の近況・ご学友の近況などの情報のご提供や、より詳しく知りたい本校の活動内容などがございましたら
お気軽に下記担当者までお問い合わせください。

学校広報室
星野 正登
[hoshino@salesio-sp.ac.jp] or [070-2196-5135]

なお、本校に来校をご予定の方は、公共交通機関をご利用の上、
お気をつけてお越しください。

